

要旨

子育て世代の不安の一つに、子どもの病気があります。子どもは病気にかかりやすく、抵抗力が弱いため重症化することも多く、病気の早期発見、早期治療を支える環境がとても大切です。

太宰府市でも、今年度より入院について小学 3 年生まで無料化が拡充され、子育て中の家庭において大変喜ばれています。

しかし県内には市町村独自の制度として行われているため、自治体によって格差が生じています。

どこに生まれ住んでも等しく安心して医療を受けられるように、県として制度の拡充を行い、市町村を支援していくことを求めます。

理由

- 1、医療費の無料化は子育て中の世帯の方、すべてが歓迎される支援策であること。
- 2、全国で唯一中学校卒業まで医療費を完全に無料化している群馬県のデータを見てみると、中学校卒業まで無料化することによって年間一人あたりの受診回数が 17%減少、一件あたりの金額も 15%減っています。
またアトピー性疾患や喘息の慢性的な疾患の受診率が増え、早期受診のよって重症化防止効果が期待できるという見方をしています。